

別紙1

令和2年度 第2回観光開発委員会

白河商工会議所
令和3年1月19日

第1回観光開発委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催とさせていただきます。

資料をご覧ください、同封の書面表決書に必要事項をご記入の上、FAX(0248-22-1300)にてご返送をお願い致します。

○ 令和3年1月19日(火) 書面による審議依頼

○ 令和3年2月 3日(水) 回答期限

目次

1. 令和2年度事業計画の実施状況について

概要	P3
事業スケジュール	P4
第9回歴史研修会	P5
図柄入り白河ナンバーの普及	P6
会員企業や地域の抱える課題の克服に繋がる政策提言	P8
事業計画の事業評価	P9

2. 令和3年度事業計画の策定について

令和3年度白河商工会議所基本方針設定のキーワード	P10
令和3年度事業計画(案)	P11

令和2年度事業計画

1. 地域や地域経済を活性化する活動の強化
 - (1) 広域連携を軸とした観光振興
2. 会員企業や地域の抱える課題の克服に繋がる政策提言
 - (1) 課題把握に基づく政策提言・要望活動の実行
3. その他
 - (1) その他必要な事項

目的と結果

- 観光振興の第一歩として、改めて白河市の歴史資源を再認識するとともに、まちづくり意識の向上を目的とし、新一万円札の図柄に起用される「渋沢栄一翁」と白河のつながりを学ぶ「歴史研修会」を実施した。
- 県南地域の“走る広告塔”として、地域の魅力を全国に発信することを目的に交付開始された、「白河版図柄入りナンバープレート」の普及活動を行った。
- 会員企業や地域の抱える課題の克服を目的に、県や関係機関などに反映させる要望・提言の意見集約を行った。

事業スケジュール

本日

事業活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第9回 歴史研修会					4日 「松平定信を知る」 第1回	1日 「渋沢栄一を知る」 第2回	6日 「松平定信と渋沢栄一の関係」 第3回					
図柄入り白河ナンバー 導入実行委員会	13日 第1回委員会	1日 5月号会報に記事掲載		21日 第2回委員会		7日 公用車プレート 交換会						
要望・政策提言の 意見集約				10日 第1回委員会 にて協議	出張交換会の 周知		15日 委員長合同会議					

第9回歴史研修会

2024年に新一万円札の図柄に起用される「渋沢栄一翁」と白河のつながりを学び、白河市の歴史資源の再認識を図る。

(参考①)研修会の様子



(参考②)研修会資料



講 師:植村 美洋氏
第1回「松平定信を知る」

日時:8月4日(火)

参加人数:21名

第2回「渋沢栄一を知る」

日時:9月1日(火)

参加人数:12名

第3回「松平定信と渋沢栄一の関係」

日時:10月6日(火)

参加人数:19名

図柄入り白河ナンバーの普及

「白河版図柄入りナンバープレート」を普及活動を行い、県南地域の魅力を全国に発信する。

(参考①) 白河ナンバー交付枚数と図柄入りナンバー交付枚数

・白河ナンバー(R02.11月末時点)

登録自動車数	5,218台
軽自動車数	3,224台
合計	8,442台

・図柄入りナンバー(R02.09月末時点)

登録自動車数	404台
軽自動車数	254台
合計※予約件数含む	658台

(参考②) 白河ナンバー出張交換会受付件数

区分	通常版	通常版 (希望ナンバー)	図柄入り (カラー)	図柄入り (モノトーン)	合計
登録自動車	6	25	15	3	49台
軽自動車	2	5	7	3	17台
合計	8	30	22	6	66台

図柄入り白河ナンバーの普及

(参考③)図柄入りナンバーの普及率(R02.9月末時点)

地域名	保有車両数	地方版図柄	普及率	順位
飛鳥	108,210	2,365	2.19%	1
富士山(山梨)	90,336	1,957	2.17%	2
福山	599,540	11,858	1.98%	3
弘前	126,187	1,972	1.56%	4
松戸	188,890	2,604	1.38%	5
富士山(沼津)	432,215	5,858	1.36%	6
江東	124,524	1,663	1.34%	7
熊本	1,354,890	18,071	1.33%	8
出雲	153,180	1,877	1.23%	9
仙台	635,785	7,060	1.11%	10
奈良	693,894	6,525	0.94%	11
苫小牧	146,587	1,364	0.93%	12
長岡	485,369	4,385	0.90%	13
知床	73,741	638	0.87%	14
市原	209,820	1,765	0.84%	15
成田	255,715	2,087	0.82%	16
柏	260,788	2,075	0.80%	17
愛媛	988,786	7,416	0.75%	18
つくば	794,282	5,954	0.75%	19
福井	653,642	4,638	0.71%	20
土浦	530,374	3,645	0.69%	21
白河	97,474	605	0.62%	22
伊勢志摩	201,857	1,221	0.60%	23
山形	677,685	4,049	0.60%	24
岩手	472,983	2,756	0.58%	25
葛飾	127,343	739	0.58%	26
春日井	198,467	1,145	0.58%	27
富山	878,087	5,004	0.57%	28
船橋	241,414	1,339	0.55%	29
下関	179,523	944	0.53%	30

地域名	保有車両数	地方版図柄	普及率	順位
杉並	110,992	577	0.52%	31
大分	897,576	4,562	0.51%	32
市川	158,624	779	0.49%	33
滋賀	1,005,606	4,884	0.49%	34
鹿児島	1,226,011	5,392	0.44%	35
庄内	227,418	953	0.42%	36
盛岡	312,236	1,284	0.41%	37
前橋	302,588	1,175	0.39%	38
上越	217,371	840	0.39%	39
平泉	212,006	754	0.36%	40
京都	1,267,535	4,418	0.35%	41
金沢	416,475	1,338	0.32%	42
越谷	160,632	509	0.32%	43
四日市	244,860	771	0.31%	44
豊田	342,329	1,062	0.31%	45
香川	458,585	1,417	0.31%	46
鳥取	456,686	1,359	0.30%	47
板橋	128,863	368	0.29%	48
佐世保	275,250	772	0.28%	49
新潟	1,078,488	2,933	0.27%	50
長崎	634,159	1,631	0.26%	51
高知	541,401	1,247	0.23%	52
宮崎	912,937	1,870	0.20%	53
山口	857,340	1,716	0.20%	54
石川	475,524	872	0.18%	55
徳島	601,054	968	0.16%	56
世田谷	214,752	309	0.14%	57
高松	302,752	367	0.12%	58
合計	26,021,638	158,706	0.61%	



「白河ナンバー対象地域」
白河市、西郷村、泉崎村、
中島村、矢吹町

白河	97,474	605	0.62%	22
----	--------	-----	-------	----

「図柄入りナンバープレート」の寄付金は、観光や地域振興の取組みに活用するため、令和3年度実行委員会を設立予定。

会員企業や地域の抱える課題の克服に繋がる政策提言

第1回委員会

- ・R01年度要望事項は継続要望。
- ・国道294号交差点～県道76号伊王野白河線交差点間の4車線化の早期実現について観光振興面からのアプローチを追加する。

第1回 委員長合同会議

各委員会で協議された意見を集約し、県知事要望に向けた合同会議を実施。

県知事要望

- ・都市計画道路白河中央線国道289号交差点以南の整備促進と都市計画道路白河駅棚倉線の4車線化早期実現。
- ・地域救急医療対策のための近隣県との広域連携体制構築。
- ・工業の森・新白河A工区の早期造成。

事業計画の事業評価

事業計画	事業内容	課題	今後の方向性	評価
1.地域や地域経済を活性化 する活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回歴史研修会 ・図柄入り白河ナンバーの普及活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・「渋沢栄一記念館」研修旅行の延期。 ・打撃を受けている観光業に対する支援策の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓見直しの上で継続 ・さらに白河の歴史の掘り下げのため、調査研究を進める。 ・白河ナンバーの普及活動は、事務局移管で継続。 	A
2.会員企業や地域の抱える課題の克服に繋がる政策提言	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回委員会にて検討。 ・第1回委員長合同会議にて協議。 	委員会を重ね、協議の場を多く設けること。	<ul style="list-style-type: none"> ✓現状のまま継続 ・withコロナafterコロナを意識した情勢に沿った要望・提言活動を継続。 	B

※評価 A：達成度はかなり高い B：達成度はやや高い C：達成度は低い



I. 個別支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響

- ・事業継続対策(資金繰り、雇用維持・確保、売上維持・拡大、補助金利活用、新陳代謝(事業承継・創業))
- ・生産性向上

新たな生活様式への対応

- ・新たなトレンド対応(①接触回避、②職住不近接、③ギグエコノミー、④グローバリズムの修正など)
- ・新たな生活様式に対応したビジネスモデルの変革(業種転換など)
- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)への対応

II. 地域支援

- ・一極集中是正(地方分散型社会への受け皿づくり)
- ・ベンチャービジネス創出(若手人材発掘・育成)
- ・移住、定住支援
- ・新たな観光振興
- ・地域資源活用
- ・若者地元定着
- ・中心市街地活性化

III. 政策提言・要望活動・調査

- ・中小・小規模事業者や地域の抱える課題の克服につながる政策提言・要望活動
- ・委員会、部会の活発化、議論の拡充
- ・事業所実態調査(コロナ影響・事業承継等)

IV. 組織財政基盤の強化・会議所活動の見える化

- ・会員拡大、共済・福祉制度の推進
- ・新たな収益事業の確立・推進
- ・商工会議所の機能の強化・高度化
- ・情報発信
- ・職員の資質向上

令和3年度事業計画(案)

I.地域支援

(1)新たな観光振興

- ・「渋沢栄一記念館」研修旅行(R2年度事業繰越し)
- ・白河市歴史探訪、フィールドワークを通し、afterコロナに向けた観光の見つめなおし
- ・青年部や女性会と連携した新たなイベントの考案

II.政策提言・要望活動・調査

(1)中小・小規模事業者や地域の抱える課題の克服につながる 政策提言・要望活動